
令和 6 年度 湯沢市 市民満足度調査
報告書（分析）

令和 6 年 7 月
湯沢市

市民満足度調査報告書（分析）

1. 施策別の総合評価	1
1-1 施策別の満足度順位	1
1-2 施策別の重要度順位	2
1-3 満足度・不満足度の推移	3
1-4 満足度・重要度の加重平均	4
1-5 満足度・重要度の加重平均によるCS分析	5
（参考）調査票と報告書の項目名称の対応	8
2. 年代、地域別による評価	9
2-1 ライフステージ別	9
ライフステージ①	10
ライフステージ②	11
ライフステージ⑤	12
ライフステージ⑥	13
2-2 性別・年代・地域別の満足度順位	14
2-3 性別・年代・地域別の重要度順位	15
3. 設問間の相関関係	16
3-1 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係	17
3-2 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係	18
3-3 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係	19
3-4 施策7「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係	20
3-5 施策15「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係	21
3-6 施策16「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」との相関関係	22
3-7 施策17「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係	23
3-8 施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係	24
3-9 施策29「公共交通の整備と利用促進」との相関関係	25
3-10 施策30「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係	26
3-11 施策31「道路等除排雪体制の充実」との相関関係	27
4. 自由意見	28

1. 施策別の総合評価

(1-1) 施策別の満足度順位

➤ 「満足」「やや満足」の合計は、「心身の健康を保つ活動の充実」が最も高く、次いで「道路等除雪排雪体制の充実」「安心な生活環境の構築」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	満足度	前回値	差分
					満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満 無回答		
1	→	1	9	心身の健康を保つ活動の充実	43.5	45.6	-2.1
2	↑	5	31	道路等除雪排雪体制の充実	40.3	38.6	1.7
3	↓	2	27	安心な生活環境の構築	39.7	44.8	-5.1
4	↓	3	4	情報発信力の強化	39.5	42.4	-2.9
5	↓	4	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	35.9	39.4	-3.5
6	↑	12	32	社会インフラの充実	35.6	33.2	2.4
7	↑	9	10	充実した長寿生活の実現	34.6	34.9	-0.3
8	↓	6	25	防災危機対策の推進	34.4	36.4	-2.0
9	↑	10	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	34.3	34.7	-0.4
10	↓	7	8	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	34.0	36.2	-2.2
11	↑	13	30	まちの動脈となる道路等の整備	33.5	30.4	3.1
12	↓	7	22	生涯学習の推進	32.8	36.2	-3.4
13	↓	11	21	学校教育の充実	30.3	34.5	-4.2
14	→	14	24	文化の保護・継承・活用	27.1	29.9	-2.8
15	↑	19	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	26.7	26.8	-0.1
16	↓	15	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	26.5	29.1	-2.6
17	↑	19	26	優れた自然環境の保全	25.9	26.8	-0.9
18	↑	27	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	25.0	20.7	4.3
19	↑	23	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	24.4	25.0	-0.6
20	↓	24	12	産業を支える土台作り	24.3	23.0	1.3
20	↑	17	23	スポーツ活動の推進	24.3	28.3	-4.0
22	↓	21	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	24.2	26.2	-2.0
23	↓	18	29	公共交通の整備と利用促進	23.4	27.2	-3.8
24	↓	16	6	生活困窮者と障がい者の自立支援	23.4	29.0	-5.6
25	↑	29	1	市民が主役のまちづくりの推進	23.2	19.1	4.1
26	↑	28	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	23.0	20.3	2.7
27	↓	25	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	22.8	22.5	0.3
28	↓	22	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	20.4	25.3	-4.9
29	↓	26	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	20.3	21.9	-1.6
30	→	30	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	19.9	18.8	1.1
31	↓	32	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	19.0	15.2	3.8
32	↑	31	19	農山村交流及び国際交流の活性化	18.8	17.6	1.2

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(1-2) 施策別の重要度順位

➤ 「重要」「やや重要」の合計は、「道路等除雪排雪体制の充実」が最も高く、次いで「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」「まちの動脈となる道路等の整備」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	重要度	前回値	差分
					重要 やや重要 どちらともいえない あまり重要でない 重要でない 無回答		
1	→	1	31	道路等除雪排雪体制の充実	86.3	88.5	-2.2
2	→	2	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	78.7	81.0	-2.3
3	↑	10	30	まちの動脈となる道路等の整備	76.7	73.2	3.5
4	→	4	27	安心な生活環境の構築	75.6	77.9	-2.5
5	↑	9	29	公共交通の整備と利用促進	75.4	74.1	0.6
6	→	6	25	防災危機対策の推進	74.7	76.0	-1.3
7	↓	3	9	心身の健康を保つ活動の充実	72.7	79.1	-6.4
7	↑	8	10	充実した長寿生活の実現	72.7	74.6	-1.9
9	↑	13	32	社会インフラの充実	72.3	68.7	3.6
10	↓	7	8	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	71.5	75.8	-4.3
10	↑	12	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	71.5	72.6	-1.1
12	↓	5	21	学校教育の充実	71.2	76.6	-5.4
13	↑	14	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	71.1	68.0	3.1
14	↓	11	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	70.0	73.0	-3.0
15	↑	18	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	68.5	64.6	3.9
16	↑	17	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	67.3	64.8	2.5
17	↓	16	4	情報発信力の強化	65.8	66.2	-0.4
18	↑	21	26	優れた自然環境の保全	64.2	62.9	1.3
19	↓	15	6	生活困窮者と障がい者の自立支援	62.2	67.5	-5.3
20	→	20	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	61.3	64.1	-2.8
21	↑	26	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	61.1	57.6	3.5
22	↓	21	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	59.8	62.9	-3.1
23	→	23	12	産業を支える土台作り	59.4	62.3	-2.9
24	↓	19	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	57.1	64.5	-7.4
25	→	25	22	生涯学習の推進	55.9	61.4	-5.5
26	↑	28	1	市民が主役のまちづくりの推進	55.5	55.2	0.3
27	↓	23	24	文化の保護・継承・活用	55.1	62.3	-7.2
28	↓	27	23	スポーツ活動の推進	54.2	56.1	-1.9
29	↑	30	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	53.4	51.7	1.7
30	↓	29	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	51.8	51.8	0.0
31	↑	32	19	農山村交流及び国際交流の活性化	43.3	40.5	2.8
32	↓	31	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	47.2	46.5	0.7

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(1-3) 満足度・不満足度の推移

① 満足度が上昇・不満足度が解消した施策

- ▶ 前年より満足度が上昇した施策は「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」で4.3ポイント、「市民が主役のまちづくりの推進」で4.1ポイント、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」で3.8ポイントの増加となっている。
- ▶ 不満足度が解消された施策は「文化の保護・継承・活用」で2.0ポイント、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」で0.6ポイント、「道路等除排雪体制の充実」で0.4ポイント減少している。

満足度が上昇した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和5年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	4.1	20.9	25.0	3.6	17.1	20.7	4.3
1	市民が主役のまちづくりの推進	3.3	19.9	23.2	2.6	16.5	19.1	4.1
18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	4.3	14.7	19.0	2.3	12.9	15.2	3.8

不満足度が解消した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和5年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
24	文化の保護・継承・活用	8.5	2.1	10.6	9.0	3.6	12.6	▲ 2.0
28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	12.0	7.7	19.7	13.7	6.6	20.3	▲ 0.6
31	道路等除排雪体制の充実	23.0	13.5	36.5	22.1	14.8	36.9	▲ 0.4

② 満足度が低下・不満足度が悪化した施策

- ▶ 前年より満足度が低下した施策は「生活困窮者と障がい者の自立支援」で5.6ポイント、「安心な生活環境の構築」で5.1ポイント、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」で4.9ポイントの減少となっている。
- ▶ 不満足度が悪化した施策は「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」で6.7ポイント、「まちの動脈となる道路等の整備」で6.0ポイント、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」で5.6ポイント増加している。

満足度が低下した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和5年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
6	生活困窮者と障がい者の自立支援	6.4	17.0	23.4	5.4	23.6	29.0	▲ 5.6
27	安心な生活環境の構築	12.4	27.3	39.7	12.9	31.9	44.8	▲ 5.1
3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	4.3	16.1	20.4	2.8	22.5	25.3	▲ 4.9

不満足度が悪化した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和5年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	18.0	9.3	27.3	13.3	7.3	20.6	6.7
30	まちの動脈となる道路等の整備	18.8	11.2	30.0	14.8	9.2	24.0	6.0
3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	18.2	6.0	24.2	11.8	6.8	18.6	5.6

(1-4) 満足度・重要度の加重平均

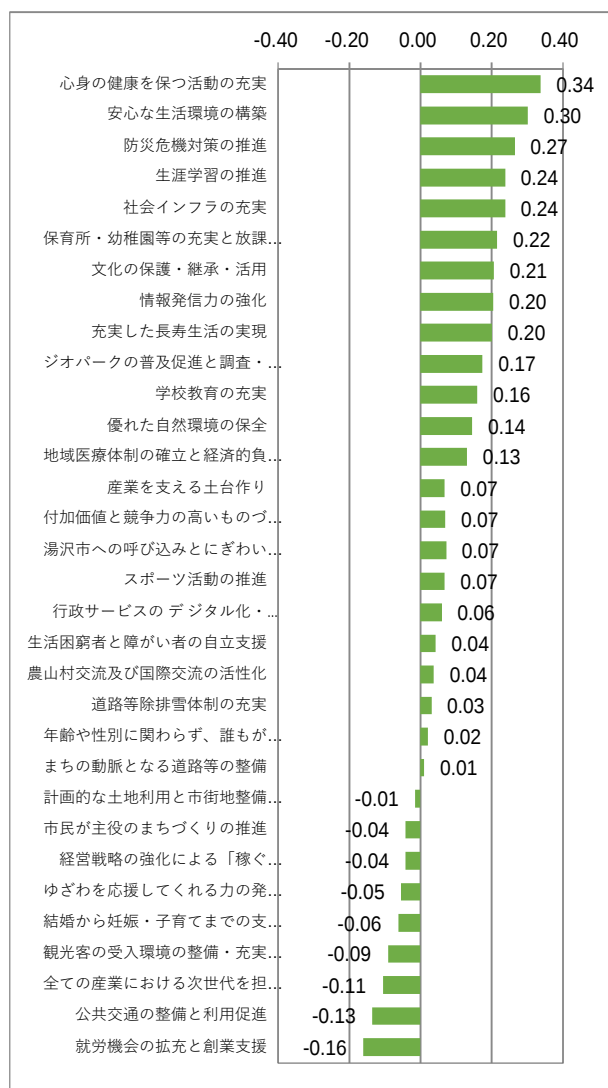
各施策（32 項目）の満足度と重要度について、加重平均による数値化を行います。満足・重要に 2、やや満足・やや重要に 1、どちらともいえないに 0、やや不満・あまり重要でないに -1、不満・重要でないに -2 を乗じて、回答者数で除して数値化しています。数値が大きいほど満足度と重要度が高いといえます。

<算出例> ※優れた自然環境の保全

満足度	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	総回答
回答者数	30	95	285	39	23	11	483
加重値	2	1	0	-1	-2	—	—

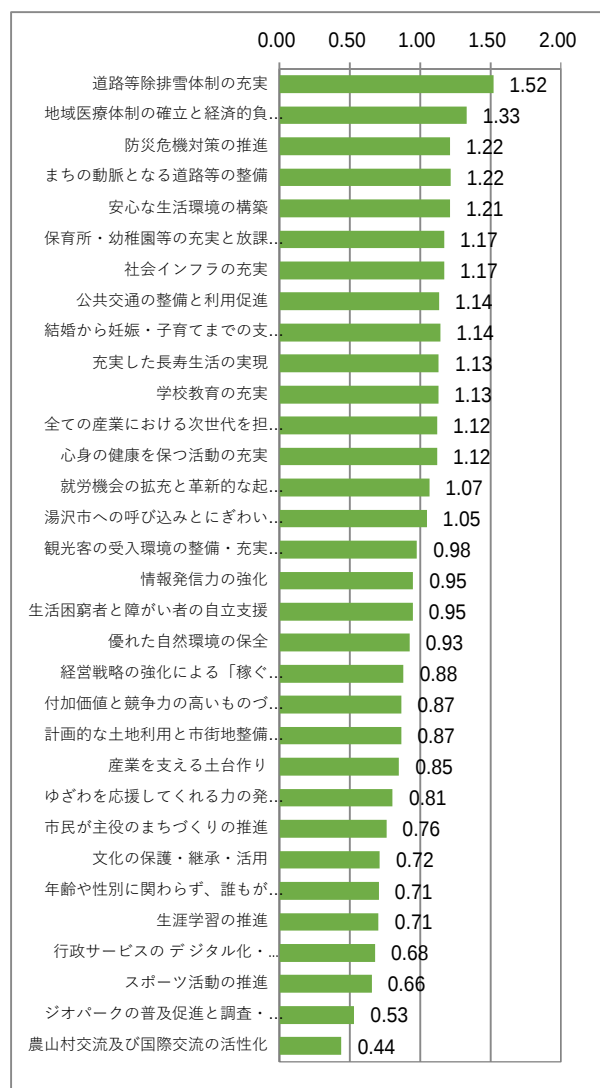
計算式： $(30 \times 2 + 95 \times 1 + 285 \times 0 + 39 \times (-1) + 23 \times (-2)) \div 483 \div 0.14$

【満足度】



満足度平均スコア：0.08

【重要度】

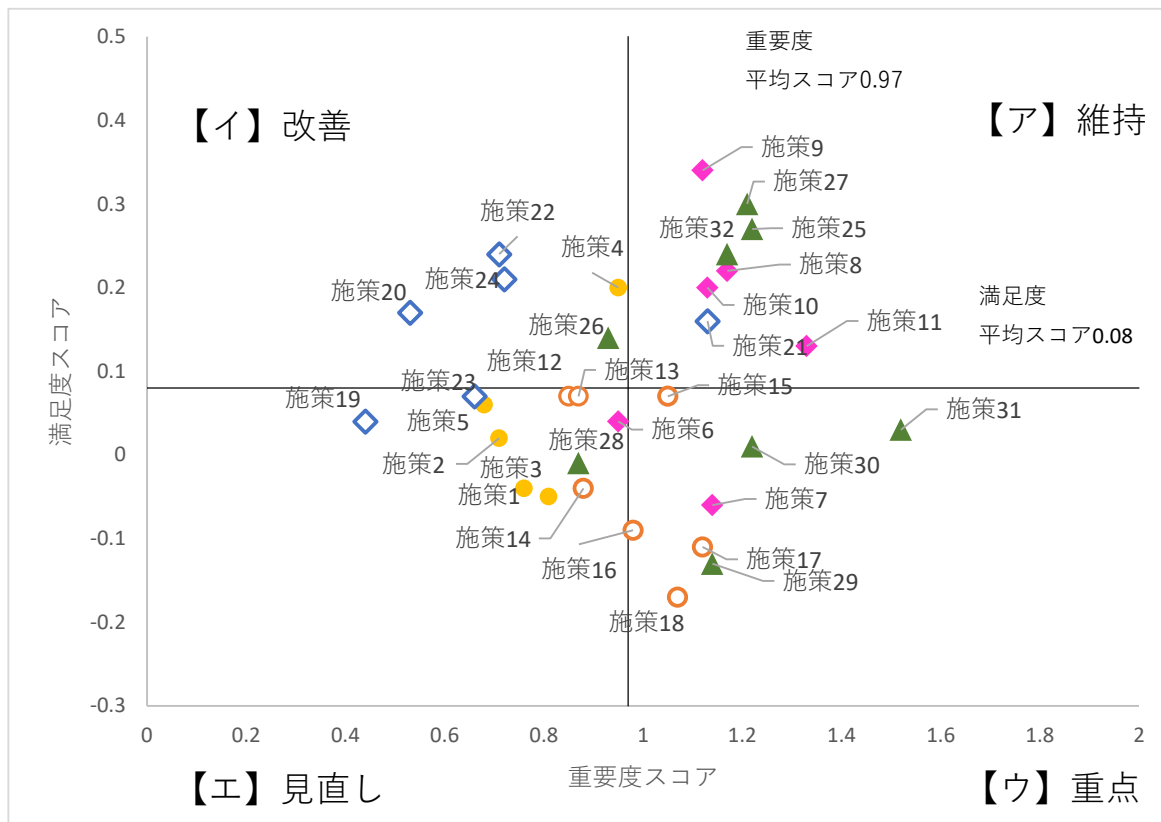


重要度平均スコア：0.97

(1-5) 満足度・重要度の加重平均によるCS分析

各施策について算出した加重平均値を用い、満足度のスコアを縦軸に、重要度のスコアを横軸として散布図グラフを作成しCS（顧客満足度）分析を行います。

各平均スコアを境に【ア】【イ】【ウ】【エ】のエリアにプロットされた施策の位置から今後の方向性を検討します。



- 市民活動・情報発信
- 産業・観光・雇用
- ▲ 防災・生活
- ◆ 子育て・福祉・健康
- ◇ 文化・教育・スポーツ

満足度と重要度による今後の方向性

	●	◆	○	◇	▲	合計
【ア】満足度高・重要度高（維持）		4		1	3	8
【イ】満足度高・重要度低（改善）	1			3	1	5
【ウ】満足度低・重要度高（重点）		1	4		3	8
【エ】満足度低・重要度低（見直し）	4	1	3	2	1	11
合計	5	6	7	6	8	32

【ア】満足度高・重要度高（維持）

⇒ この水準を維持しながら、より効率的な事務執行が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	8	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	0.22	1.17
◆	9	心身の健康を保つ活動の充実	0.34	1.12
◆	10	充実した長寿生活の実現	0.20	1.13
◆	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	0.13	1.33
◆	21	学校教育の充実	0.16	1.13
◇	25	防災危機対策の推進	0.27	1.22
▲	27	安心な生活環境の構築	0.30	1.21
▲	32	社会インフラの充実	0.24	1.17

【イ】満足度高・重要度低（改善）

⇒ 費用対効果の見直しなど、事務事業の改善が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	4	情報発信力の強化	0.20	0.95
◇	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	0.17	0.53
◇	22	生涯学習の推進	0.24	0.71
◇	24	文化の保護・継承・活用	0.21	0.72
▲	26	優れた自然環境の保全	0.14	0.90

【ウ】満足度低・重要度高（重点）

⇒ 満足度を高めるため、重点的な取組が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	-0.06	1.14
○	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	0.07	1.05
○	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	-0.09	0.98
○	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	-0.11	1.12
○	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	-0.17	1.07
▲	29	公共交通の整備と利用促進	-0.13	1.14
▲	30	まちの動脈となる道路等の整備	0.01	1.22
▲	31	道路等除排雪体制の充実	0.03	1.52

【エ】満足度低・重要度低（見直し）

⇒ 予算や内容等、事務事業の抜本的な見直しが必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	1	市民が主役のまちづくりの推進	-0.04	0.76
●	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	0.02	0.71
●	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	-0.05	0.81
●	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	0.06	0.68
◆	6	生活困窮者と障がい者の自立支援	0.04	0.95
○	12	産業を支える土台作り	0.07	0.85
○	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	0.07	0.87
○	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	-0.04	0.88
◇	19	農山村交流及び国際交流の活性化	0.04	0.44
◇	23	スポーツ活動の推進	0.07	0.66
▲	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	-0.01	0.87

(参考) 調査票と報告書の項目名称の対応

	分野	施策 No.	施策名	設問項目
1 章	● 市民 活動・ 情報 発信	1	市民が主役のまちづくりの推進	地域の方々が主体的に取り組むまちづくり活動への支援や、まちづくりの中心となる人材の育成など、「市民が主役のまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	若者・女性が主催するイベントの支援や、高校生による市長への政策提言など、「年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	ふるさと納税の推進や、ふるさと応援大使の委嘱のほか、移住の働きかけや定住支援を行うなど、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」に取り組んでいます。
		4	情報発信力の強化	広報紙など様々な手段を活用して、市の情報や魅力を発信しているほか、市民ボランティアによるSNS配信チームを結成し、市内の魅力をPRするなど、「情報発信力の強化」に取り組んでいます。
		5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	オンライン市民相談システムや窓口キャッシュレス決済の運用など、デジタル技術の活用により行政サービスの向上及び効率化を図る「行政サービスのデジタル化・DXの推進」に取り組んでいます。
2 章	◆ 子育て・ 福祉・ 健康	6	生活困窮者と障がい者の自立支援	生活困窮者に対する自立・就労支援や、障がい者の社会参加・就業機会の確保など、「生活困窮者と障がい者の自立支援」に取り組んでいます。
		7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	結婚を希望する方への支援のほか、出産・子育て応援給付金の支給、子育て相談の充実やイベントの開催など、「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」に取り組んでいます。
		8	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	保育所・認定子ども園の延長保育等の費用補助や、放課後児童クラブの運営など、「保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成」に取り組んでいます。
		9	心身の健康を保つ活動の充実	各種健（検）診の実施や人間ドック等の費用助成のほか、自殺予防対策の促進など、「心身の健康を保つ活動の充実」に取り組んでいます。
		10	充実した長寿生活の実現	高齢者の社会参加と生きがい・健康づくりの推進のほか、福祉除雪サービス・雪下ろし費用の助成等の在宅生活の支援など、「充実した長寿生活の実現」に取り組んでいます。
3 章	○ 産業・ 観光・ 雇用	12	産業を支える土台作り	皆瀬診療所の運営や救急・小児医療体制の確保のほか、高額療養費の負担や福祉医療費の給付など、「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」に取り組んでいます。
		13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	農地の整備事業や農道等の改良工事を行うほか、伝統的工芸品等の産業に対する支援など、「産業を支える土台づくり」に取り組んでいます。
		14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	農作物等のブランド化や地域産材（木材）の活用した住宅建築への助成など、「付加価値と競争力の高いものづくりの推進」に取り組んでいます。
		15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	ビジネス支援センター「ゆざわ-Biz」を運営するほか、中小企業の事業展開への支援や地域特産物の販路拡大など、『経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上」に取り組んでいます。
		16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	県外での観光キャンペーンや七夕まつり・犬っこまつり等イベント開催への支援のほか、台湾をターゲットとしたプロモーションの強化など、「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」に取り組んでいます。
		17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	観光施設の維持管理のほか、観光物産団体の組織体制を確立するための支援など、「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」に取り組んでいます。
		18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	農林業の担い手や地場産業の後継者を確保・育成するため技術取得等の支援のほか、小学生向けのものづくり体験学習を実施するなど、「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」に取り組んでいます。
		18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	企業誘致の促進やふるさと企業への支援等により雇用確保を図るとともに、市内における起業・創業を支援するなど、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」に取り組んでいます。
4 章	◇ 文化・ 教育・ スポ ー ツ	19	農山村交流及び国際交流の活性化	様々な地域や団体との交流を通じて地域の魅力を感じてもらうとともに、地域への愛着心を育むため、「農山村交流及び国際交流の活性化」に取り組んでいます。
		20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	ジオパークの普及・啓発活動やジオパークを対象とした学術調査・研究活動を支援するなど、「ジオパークの普及促進と調査・研究の支援」に取り組んでいます。
		21	学校教育の充実	学習環境の整備や基礎的学習の充実のほか、ICT教育や英語教育を推進するなど、「学校教育の充実」に取り組んでいます。
		22	生涯学習の推進	出前講座や生涯学習人材バンク講師による学習活動を行うほか、社会教育施設の歳暮・運営や音楽をはじめとした芸術文化活動を推進するなど、「生涯学習の推進」に取り組んでいます。
		23	スポーツ活動の推進	各種スポーツイベント等を開催するほか、スポーツ施設の整備・運営やスポーツ関係団体を支援するなど、「スポーツ活動の推進」に取り組んでいます。
		24	文化の保護・継承・活用	風土に育まれた歴史や文化を次の世代へつないでいくため、文化財の保護・活用を推進するなど、「文化の保護・継承・活用」に取り組んでいます。
5 章	▲ 防災・ 生活	25	防災危機対策の推進	消防施設等の整備と消防団の体制強化を図るほか、災害に備える対策を行うなど、「防災危機対策の推進」に取り組んでいます。
		26	優れた自然環境の保全	二酸化炭素の排出を削減し地球温暖化を抑止する「ゼロカーボンシティゆざわ」を推進するほか、市内の豊かな森林環境を守るなど、「優れた自然環境の保全」に取り組んでいます。
		27	安心な生活環境の構築	ごみの適切な処理や空き家の解体撤去の促進等により、安全かつ良好な生活環境を確保するほか、交通安全や防犯対策を行うなど、「安心な生活環境の構築」に取り組んでいます。
		28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	湯沢市立地適正化計画の見直しや市営住宅の管理のほか、湯沢市複合公共施設の整備を進めるなど、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」に取り組んでいます。
		29	公共交通の整備と利用促進	高齢者等の移動手段を確保するため、乗合タクシーの運行や路線バスの運行費補助を行うほか、公共交通のガイドマップを作成するなど、「公共交通の整備と利用促進」に取り組んでいます。
		30	まちの動脈となる道路等の整備	安全・安心で快適な通行を確保するため、道路や橋の整備など、「まちの動脈となる道路等の整備」に取り組んでいます。
		31	道路等除排雪体制の充実	冬期間の交通や生活の安全を確保するため、道路等の除排雪作業の実施や除雪機械の整備・更新など、「道路等除排雪体制の充実」に取り組んでいます。
		32	社会インフラの充実	公共施設の長寿命化や統廃合などの推進のほか、安全な水の供給と下水道等整備による公衆衛生の向上や情報基盤の整備など、「社会インフラの充実」に取り組んでいます。

2. 年代、地域別による評価

(2-1) ライフステージ別

■ ライフステージ分類の考え方

市政に対する市民の関心や現状の生活に対する満足度・重要度の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年代、家族形態、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なります。ライフステージによって異なる市民の満足度・重要度の傾向を明らかにすることにより、各ライフステージの市民を対象とした施策を考える際の参考情報とします。本分析では、「年代」、「家族構成」、「子どもの有無」の三つの属性に関する回答で、市民を次ページの七つのライフステージに分類しました。このうち、「①10～50 歳代・15才未満の子どもがいない世帯」、「②10～50 歳代・15歳未満の子どもがいる世帯」、「⑤60 歳以上・夫婦のみ世帯」、「⑥60 歳以上・多世代世帯」の4つの分類において、該当する市民とそれ以外の市民の満足度・重要度の回答傾向の違いを、統計的検定（t 検定）を用いて明らかにしました。なお、「③10～40 歳代・その他」、「④60 歳以上・単身世帯」、及び「⑦60 歳以上・その他」については、対象サンプルが少なく特徴が捉えにくいとため、統計的検定を行わず、以降のページに結果を記載していません。

ライフステージごとの各施策に対する満足度及び重要度は次ページ以降に示した通りであり、印をつけた箇所は、他のライフステージに比べて、統計的に有意（※注）に高い又は低い水準となっています。なお、文中の「高い」「低い」という文言は、他のライフステージと比較した際に、相対的に「高い」又は「低い」ことを表しています。

（※注）60 歳以上は、独居老人や夫婦のみ世帯など、小規模世帯の傾向を把握するため、ライフステージ④及び⑤を設置。

		家族構成			
		単身世帯	夫婦のみ世帯	2～3 世代	その他
年代	10歳代	ライフステージ① (子ども無し)		ライフステージ② (子ども有り)	ライフ ステージ ③
	20歳代				
	30歳代				
	40歳代				
	50歳代				
	60歳代	ライフステージ④	ライフステージ⑤	ライフステージ⑥	ライフステージ⑦
	70歳以上				

■ 標本規模

ライフステージ	分類			回答数	割合 (%)
	【問2】年齢	【問5】家族構成	【問6】子どもの有無		
①10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯	10～50 歳代	単身世帯、夫婦のみ世帯、多世代世帯	—	201	41.6
②10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯	10～50 歳代	多世代世帯、その他	15歳未満の子どもがいる	88	18.2
③10～50 歳代 その他	10～50 歳代	上記①～②以外		12	2.4
④60 歳以上 単身世帯	60歳代、70 歳以上	単身世帯	—	30	6.2
⑤60 歳以上 夫婦のみ世帯	60歳代、70 歳以上	夫婦のみ世帯	—	61	12.6
⑥60 歳以上 多世代世帯	60歳代、70 歳以上	多世代世帯	(全て対象)	73	15.1
⑦60 歳以上 その他	60歳代、70 歳以上	上記④～⑥以外		18	3.7

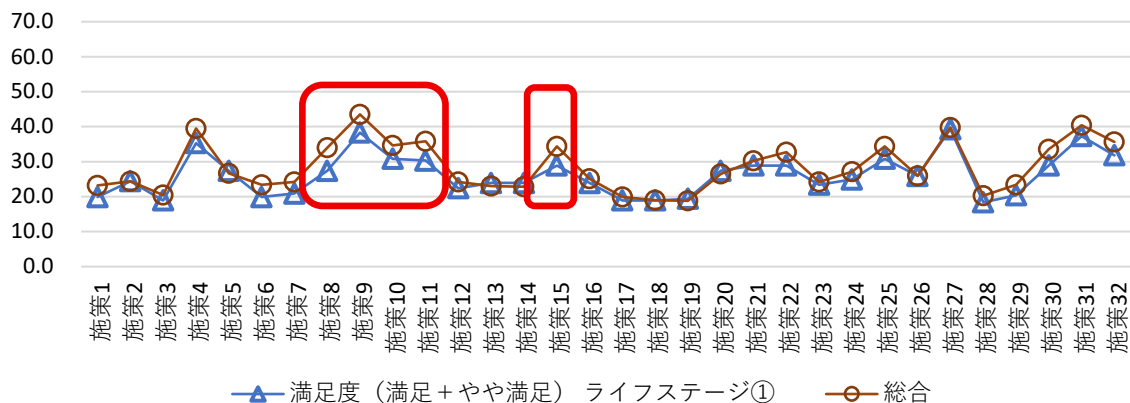
注) 年齢、家族構成について、無回答のものを除いて集計

n = 483

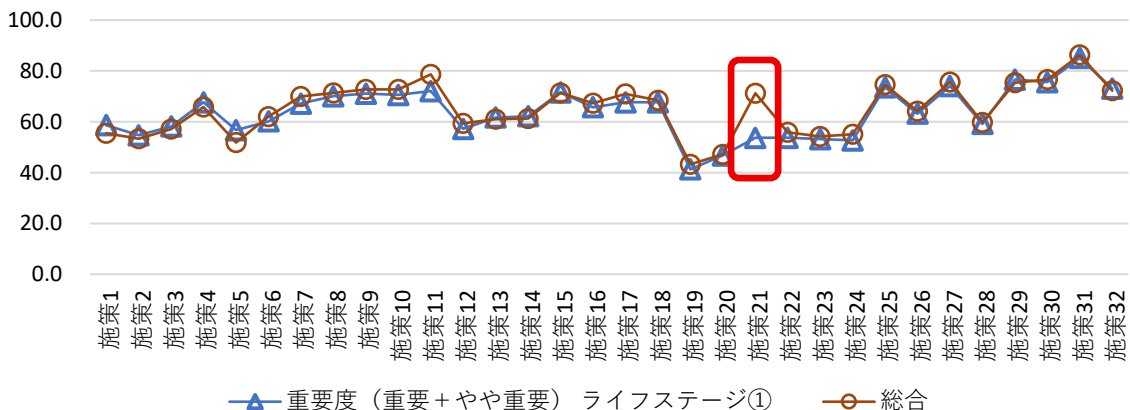
ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯

－ 子育て・福祉・健康に関する満足度の低さが顕著 －

< 満足度 >



< 重要度 >



< 他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み >

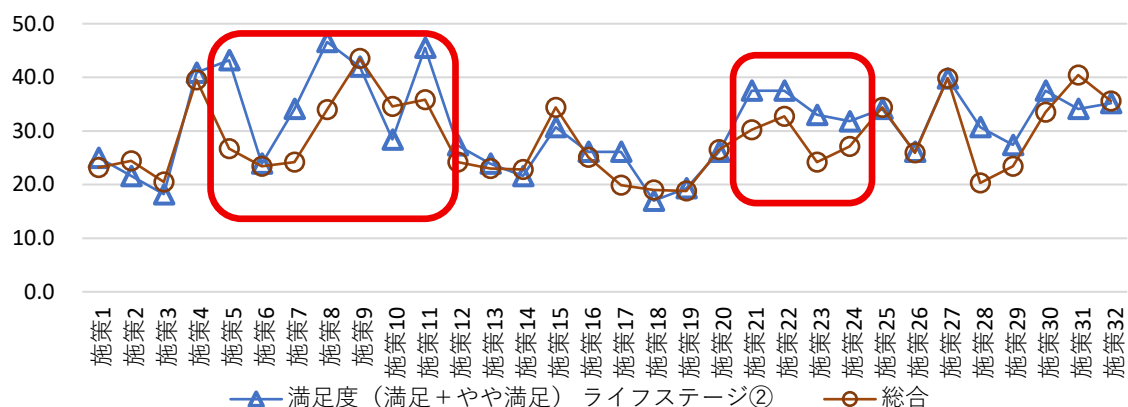
	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	8	保育所等の充実
		9	健康を保つ活動の充実
		10	充実した長寿生活の実現
		11	地域医療体制の確立
		15	にぎわいの創出
重要度	低い	21	学校教育の充実

- 満足度については、他のライフステージと比較して全体的に低いが、特に施策No.8～11の「子育て・福祉・健康」関係と施策No.15の「にぎわいの創出」が低い。
- 重要度については、他のライフステージと比較して施策No.21の「学校教育の充実」が低い。

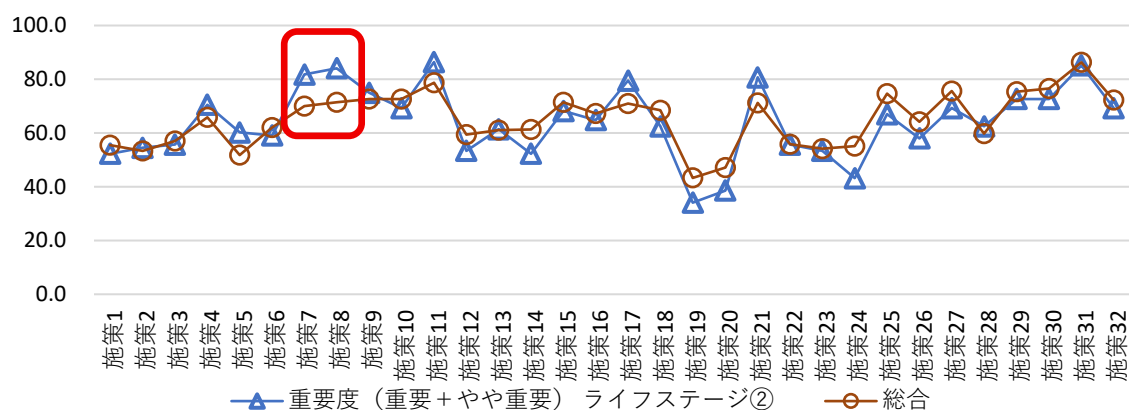
ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯

－ 子育て及び教育に関する満足度の高さが顕著 －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

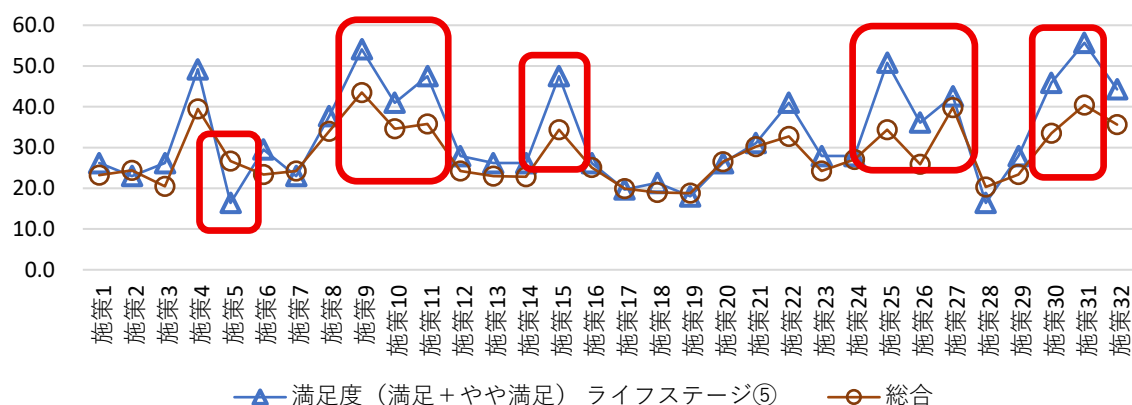
	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	5	行政サービスのデジタル化
		7	結婚、妊娠、子育て支援
		8	保育所等の充実
		11	地域医療体制の確立
		23	スポーツ活動の推進
		28	計画的な土地利用
重要度	高い	7	結婚、妊娠、子育て支援
		8	保育所等の充実

- 満足度については、他のライフステージと比較して、施策No.7,8,11の「子育て・福祉・健康」関係の施策の満足度が高い。また、施策No.5の「行政サービスのデジタル化」やNo.21～24の「文化・教育・スポーツ」関係の施策の満足度も高い。
- 重要度については、他のライフステージと比較して、施策No.7,8の「子育て・福祉・健康」関係の施策の重要度が高い。

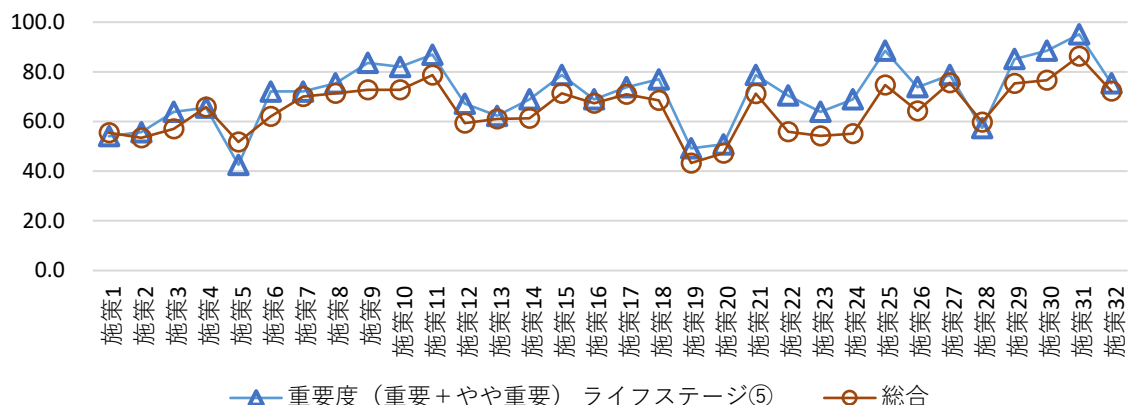
ライフステージ⑤ 60 歳以上 夫婦のみ世帯

－ 他のライフステージよりも全体的に満足度が高い －

< 満足度 >



< 重要度 >



< 他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み >

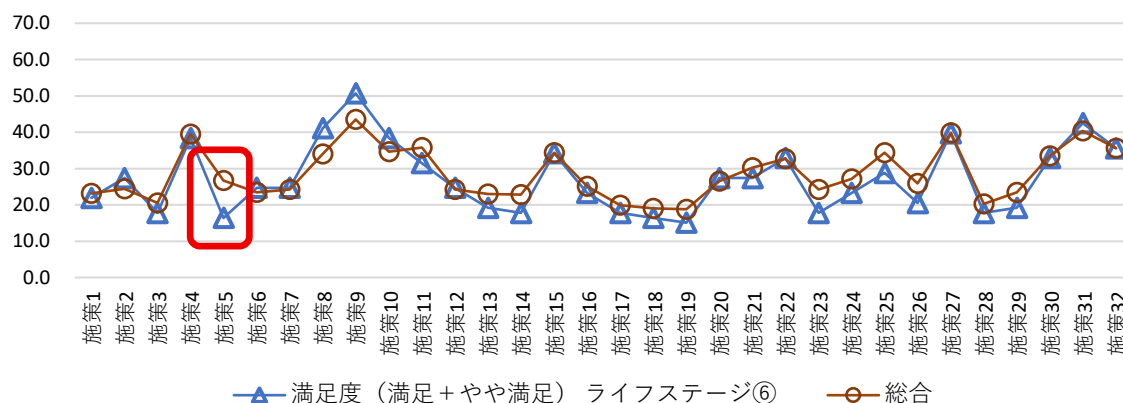
	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	5	行政サービスのデジタル化
	高い	9	健康を保つ活動の充実
		10	充実した長寿生活の実現
		11	地域医療体制の確立
		15	にぎわいの創出
		25	防災危機対策の推進
		26	優れた自然環境の保全
		30	道路等の整備
		31	道路等除雪排雪体制の充実

- 満足度については、他のライフステージと比較して全体的に高いが、特に施策No.9,10,11の「健康・福祉関係」と施策No.25,26,30,31の「防災・生活関係」については高くなっている。一方、他のライフステージと比較して、施策No.5の「行政サービスのデジタル化」関係の施策の満足度が低い。
- 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

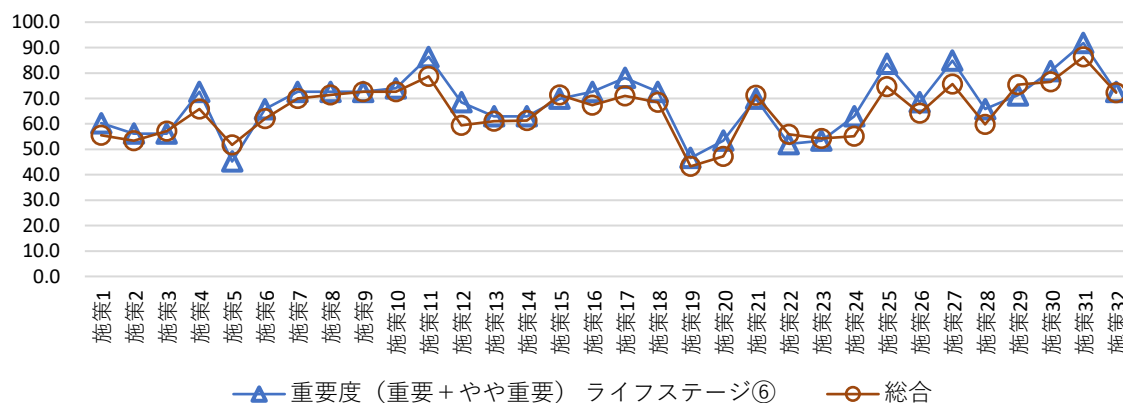
ライフステージ⑥ 60 歳以上 多世代世帯

－ 行政サービスのデジタル化に関する満足度が低い －

< 満足度 >



< 重要度 >



< 他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み >

	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	5	行政サービスのデジタル化

- 満足度については、他のライフステージと比較して、No.5の「行政サービスのデジタル化」が低くなっている。
- 重要度については、他のライフステージと比較して大きな差異がない。

(2-2) 性別・年代・地域別の満足度順位

※「満足」又は「やや満足」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		健康を保つ活動の充実 43.5%	道路等除排雪体制の充実 40.4%	安心な生活環境の構築 39.8%	情報発信力の強化 39.5%	地域医療体制の確立 35.8%
性別	男性	道路等除排雪体制の充実 39.2%	健康を保つ活動の充実 37.4%	安心な生活環境の構築 32.9%	情報発信力の強化 32.0%	道路等の整備 30.6%
	女性	健康を保つ活動の充実 49.0%	安心な生活環境の構築 46.3%	情報発信力の強化 45.9%	地域医療体制の確立 42.0%	道路等除排雪体制の充実 41.6%
年代	10歳代	道路等除排雪体制の充実 55.6%	社会インフラの充実 55.6%	市民が主役のまちづくり 51.9%	地域医療体制の確立 51.9%	学校教育の充実 51.9%
	20歳代	情報発信力の強化 42.5%	健康を保つ活動の充実 42.5%	安心な生活環境の構築 42.5%	にぎわいの創出 37.5%	応援してくれる力の発掘 35.0%
	30歳代	社会インフラの充実 36.2%	行政サービスのデジタル化 34.8%	健康を保つ活動の充実 34.8%	生涯学習の推進 34.8%	道路等除排雪体制の充実 34.8%
	40歳代	安心な生活環境の構築 41.6%	健康を保つ活動の充実 40.4%	地域医療体制の確立 38.2%	道路等除排雪体制の充実 38.2%	保育所等の充実 37.1%
	50歳代	情報発信力の強化 40.8%	安心な生活環境の構築 39.5%	健康を保つ活動の充実 38.2%	道路等除排雪体制の充実 35.5%	地域医療体制の確立 31.6%
	60歳代	健康を保つ活動の充実 46.5%	道路等除排雪体制の充実 44.6%	情報発信力の強化 36.6%	安心な生活環境の構築 36.6%	充実した長寿生活の実現 36.5%
	70歳以上	健康を保つ活動の充実 58.0%	にぎわいの創出 53.1%	情報発信力の強化 51.9%	充実した長寿生活の実現 51.9%	地域医療体制の確立 48.1%
地域	湯沢地域	健康を保つ活動の充実 43.2%	安心な生活環境の構築 41.9%	道路等除排雪体制の充実 40.3%	情報発信力の強化 38.4%	道路等の整備 35.8%
	稲川地域	道路等除排雪体制の充実 50.0%	社会インフラの充実 50.0%	健康を保つ活動の充実 47.6%	安心な生活環境の構築 45.2%	情報発信力の強化 42.9%
	雄勝地域	情報発信力の強化 42.6%	健康を保つ活動の充実 38.2%	充実した長寿生活の実現 35.3%	にぎわいの創出 35.3%	道路等除排雪体制の充実 35.3%
	皆瀬地域	健康を保つ活動の充実 47.4%	充実した長寿生活の実現 42.1%	観光客の受入環境の整備 42.1%	地域医療体制の確立 36.8%	情報発信力の強化 31.6%

施策NO.	施策名	該当数
9	健康を保つ活動の充実	13
4	情報発信力の強化	11
31	道路等除排雪体制の充実	11
27	安心な生活環境の構築	9
11	地域医療体制の確立	7
10	充実した長寿生活の実現	4
15	にぎわいの創出	3
32	社会インフラの充実	3
30	道路等の整備	2
1	市民が主役のまちづくり	1
3	応援してくれる力の発掘	1
5	行政サービスのデジタル化	1
8	保育所等の充実	1
16	観光客の受入環境の整備	1
21	学校教育の充実	1
22	生涯学習の推進	1

(2-3) 性別・年代・地域別の重要度順位

※「重要」又は「やや重要」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		道路等除排雪体制の充実 86.3%	地域医療体制の確立 78.7%	道路等の整備 76.6%	安心な生活環境の構築 75.6%	公共交通の整備と利用促進 75.4%
性別	男性	道路等除排雪体制の充実 86.0%	道路等の整備 77.0%	地域医療体制の確立 75.2%	防災危機対策の推進 73.4%	就労機会の拡充と創業支援 72.1%
	女性	道路等除排雪体制の充実 87.1%	地域医療体制の確立 82.4%	安心な生活環境の構築 79.2%	公共交通の整備と利用促進 78.8%	道路等の整備 76.9%
年代	10歳代	学校教育の充実 85.2%	道路等除排雪体制の充実 81.5%	地域医療体制の確立 77.8%	防災危機対策の推進 77.8%	道路等の整備 77.8%
	20歳代	道路等除排雪体制の充実 82.5%	就労機会の拡充と創業支援 80.0%	公共交通の整備と利用促進 77.5%	にぎわいの創出 75.0%	防災危機対策の推進 75.0%
	30歳代	道路等除排雪体制の充実 88.4%	公共交通の整備と利用促進 82.6%	安心な生活環境の構築 81.2%	保育所等の充実 79.7%	結婚、妊娠、子育て支援 78.3%
	40歳代	道路等除排雪体制の充実 86.5%	地域医療体制の確立 83.1%	次世代を担う人材の確保・育成 77.5%	道路等の整備 77.5%	結婚、妊娠、子育て支援 76.4%
	50歳代	道路等除排雪体制の充実 82.9%	にぎわいの創出 76.3%	健康を保つ活動の充実 75.0%	公共交通の整備と利用促進 75.0%	充実した長寿生活の実現 73.7%
	60歳代	道路等除排雪体制の充実 89.1%	地域医療体制の確立 84.2%	防災危機対策の推進 79.2%	道路等の整備 79.2%	安心な生活環境の構築 78.2%
	70歳以上	道路等除排雪体制の充実 87.7%	充実した長寿生活の実現 80.2%	地域医療体制の確立 80.2%	安心な生活環境の構築 80.2%	防災危機対策の推進 77.8%
地域	湯沢地域	道路等除排雪体制の充実 86.8%	地域医療体制の確立 79.4%	防災危機対策の推進 79.4%	安心な生活環境の構築 76.8%	公共交通の整備と利用促進 76.8%
	稲川地域	道路等除排雪体制の充実 89.3%	地域医療体制の確立 83.3%	社会インフラの充実 81.0%	充実した長寿生活の実現 79.8%	道路等の整備 78.6%
	雄勝地域	道路等除排雪体制の充実 79.4%	道路等の整備 76.5%	地域医療体制の確立 73.5%	公共交通の整備と利用促進 73.5%	安心な生活環境の構築 69.1%
	皆瀬地域	道路等除排雪体制の充実 100.0%	観光客の受入環境の整備 89.5%	道路等の整備 89.5%	結婚、妊娠、子育て支援 84.2%	健康を保つ活動の充実 78.9%

施策NO.	施策名	該当数
31	道路等除排雪体制の充実	14
11	地域医療体制の確立	10
30	道路等の整備	9
29	公共交通の整備と利用促進	7
27	安心な生活環境の構築	7
25	防災危機対策の推進	6
7	結婚、妊娠、子育て支援	3
10	充実した長寿生活の実現	3
9	健康を保つ活動の充実	2
15	にぎわいの創出	2
18	就労機会の拡充と創業支援	2
8	保育所等の充実	1
16	観光客の受入環境の整備	1
17	次世代を担う人材の確保・育成	1
21	学校教育の充実	1
32	社会インフラの充実	1

3. 設問間の相関関係

■ 相関関係とは

年齢と収入のように、1つのデータの変化に伴って、もう1つのデータも変化するような関係を相関関係といい、1つのデータが増えるとき、もう1つのデータも増えるような関係を正の相関関係といいます。

■ 設問間の相関関係

本調査の施策に関する設問 1 から 3 2 のうち、「住みやすさ」、「愛着や誇り」、「住みつづけたい」に関する設問との相関関係を把握するため、相関係数（係数は－1 から＋1 の間の値をとり、その値が1 に近いほど正の相関関係が強いことを示す。）を算出して、その結果を次ページ以降に示しました。

また、重点的な取り組みが必要であると分析された以下 8 施策についても掲載しました。

施策NO.	施策名
7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出
16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化
17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成
18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援
29	公共交通の整備と利用促進
30	まちの動脈となる道路等の整備
31	道路等除排雪体制の充実

<注意事項>

相関係数はいくつかの方法により算出することができますが、ここでは、通常用いられるピアソンの相関係数により算出しています。設問における選択肢は順位尺度となりますが、その値の差が等しい間隔尺度として仮定した上で、相関係数を算出しています。

(3-1) 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係

問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」と各設問（施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.35となり、次いで「行政サービスのデジタル化」の0.31、「道路等の整備」の0.29、「安心な生活環境の構築」と「結婚、妊娠、子育て支援」の0.28となった。
- 「市民活動・情報発信」「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-2) 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係

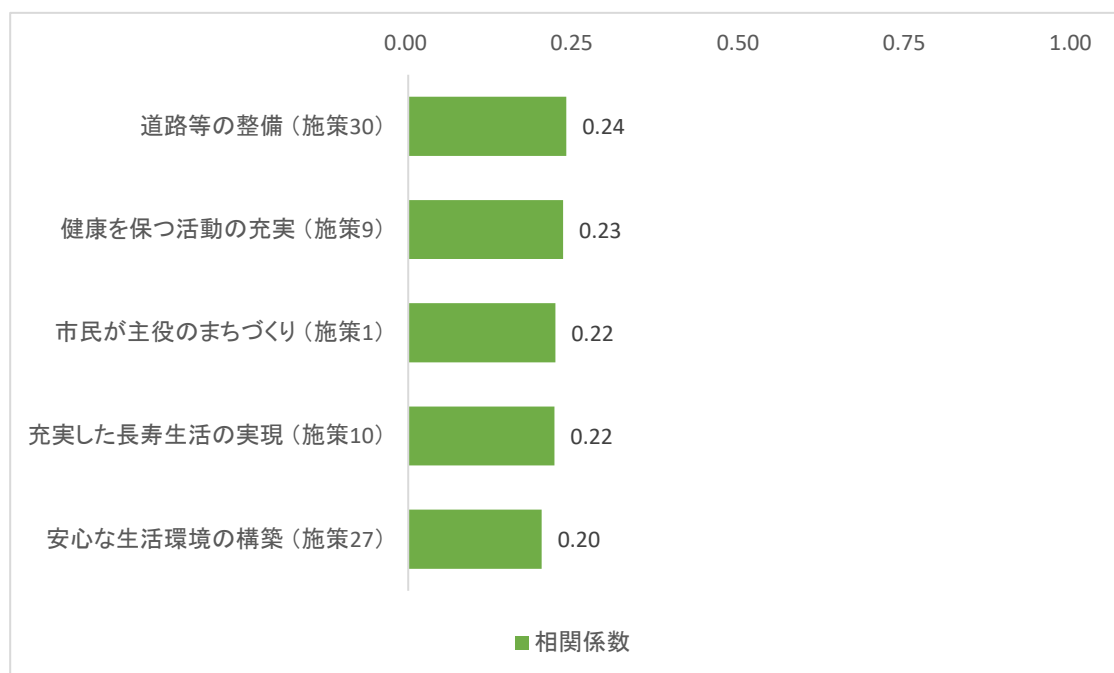
問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」と各設問（施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「誰もが活躍できるまちづくり」の0.35となり、次いで、「道路等の整備」の0.34、「市民が主役のまちづくり」0.33、「生涯学習の推進」の0.32、「充実した長寿生活の実現」の0.30となった。
- 「市民活動・情報発信」に関する施策との相関関係が強い。

(3-3) 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係

問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」と各設問（施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「道路等の整備」の0.24となり、次いで「健康を保つ活動の充実」の0.23、「市民が主客のまちづくり」「充実した長寿生活の実現」の0.22、「安心な生活環境の構築」の0.20となった。
- 「子育て・福祉・健康」「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

（３－４）施策７「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係

施策７「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」と各設問（問８、９、１０、施策１～３２）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「保育所等の充実」の0.61となり、次いで「困窮者や障がい者の自立支援」の0.49、「稼ぐ力・売る力の向上」「観光客の受入整備の整備」の0.48、「スポーツ活動の推進」の0.47となった。
- 「子育て・福祉・健康」「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

（３－５）施策15「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係

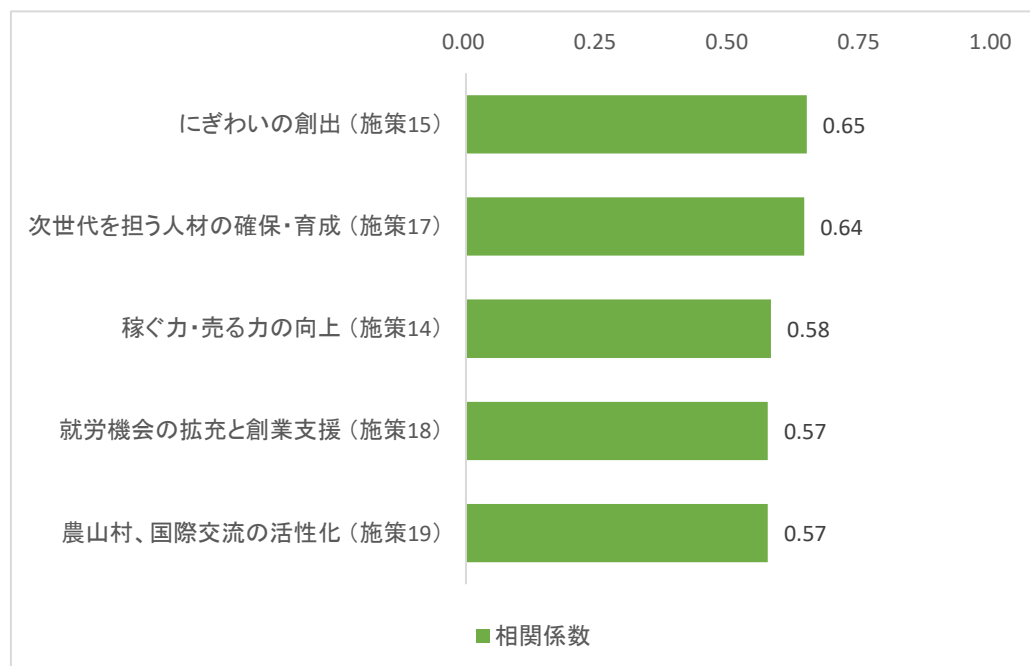
施策15「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」と各設問（問８、９、10、施策１～32）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「観光客の受入環境の整備」の0.65、次いで「就労機会の拡充と創業支援」の0.54、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.52、「次世代を担う人材の確保・育成」の0.50、「付加価値の高いものづくり」の0.49となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

（３－６）施策16「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」との相関関係

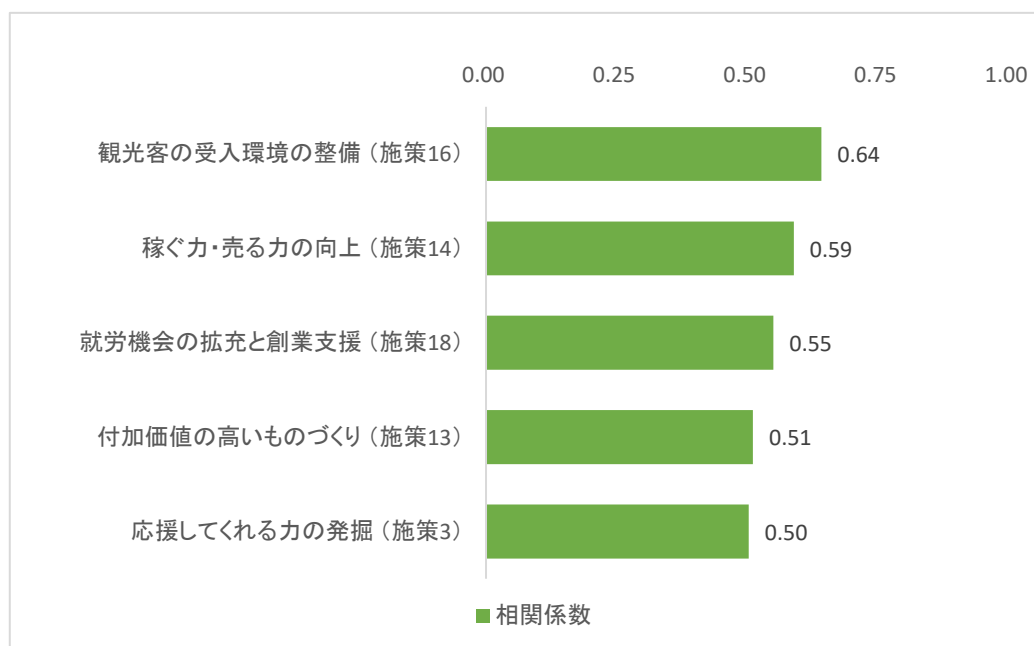
施策16「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」と各設問（問８、９、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「にぎわいの創出」の0.65となり、次いで「次世代を担う人材の確保・育成」の0.64、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.58、「就労機会の拡充と創業支援」「農山村、国際交流の活性化」の0.57となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

（３－７）施策17「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係

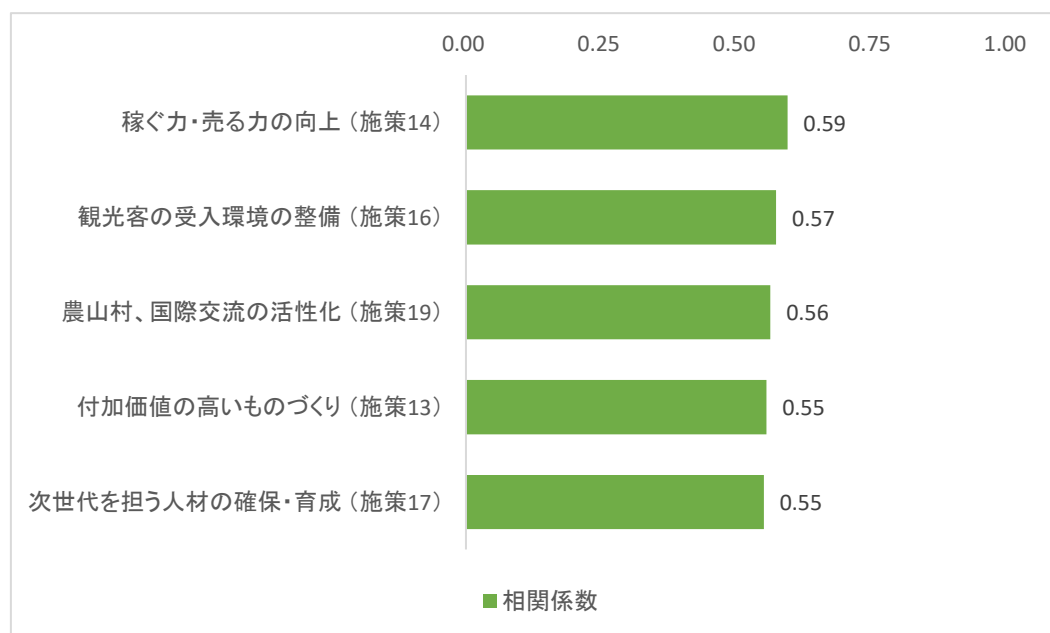
施策17「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」と各設問（問８、９、10、施策１～32）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「観光客の受入環境の整備」の0.64、次いで「稼ぐ力・売る力の向上」の0.59、「就労機会の拡充と創業支援」の0.55となり、「付加価値の高いものづくり」の0.51、「応援してくれる力の発掘」の0.50となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

（３－８）施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係

施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」と各設問（問８、９、10、施策１～32）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「稼ぐ力・売る力の向上」の0.59、次いで、「観光客の受入環境の整備」の0.57、「農山村、国際交流の活性化」の0.56となり、「付加価値の高いものづくり」「次世代を担う人材の確保・育成」の0.55となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-9) 施策29「公共交通の整備と利用促進」との相関関係

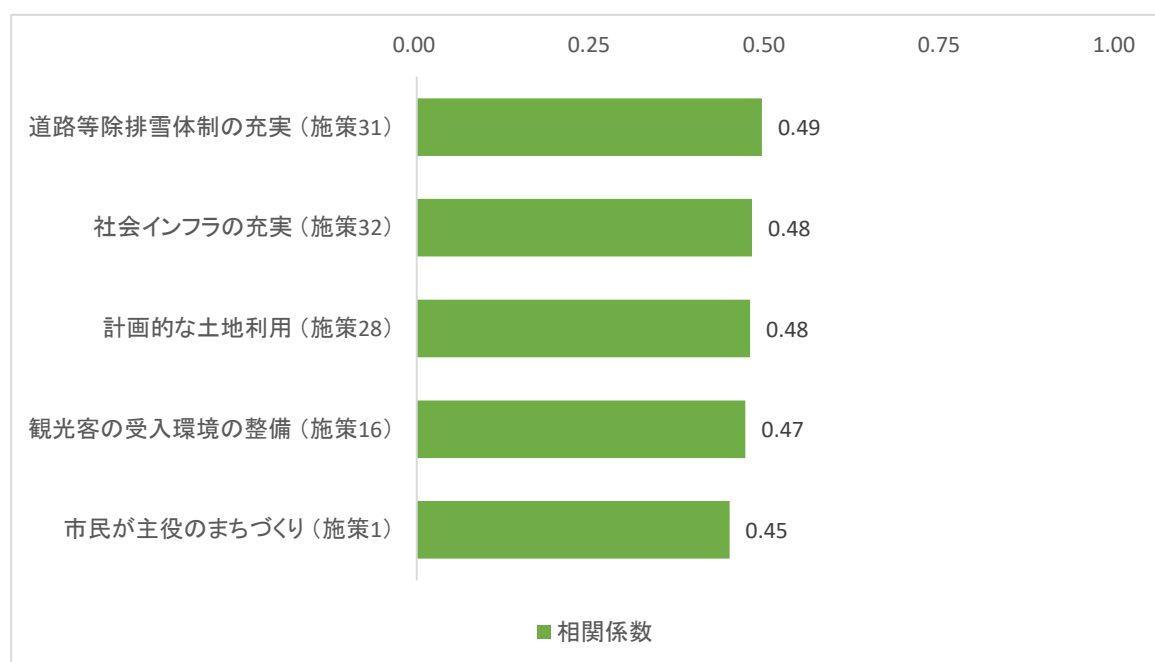
施策29「公共交通の整備と利用促進」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「計画的な土地利用」の0.49となり、次いで「産業を支える土台作り」の0.49、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」「スポーツ活動の推進」の0.48、「にぎわいの創出」の0.47となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-10) 施策30「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係

施策30「まちの動脈となる道路等の整備」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「道路等除排雪体制の充実」の0.49、次いで「社会インフラの充実」「計画的な土地利用」の0.48、「観光客の受入環境の整備」の0.47、「市民が主役のまちづくり」の0.45となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-11) 施策31「道路等除排雪体制の充実」との相関関係

施策31「道路等除雪排雪体制の充実」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「社会インフラの充実」の0.53、次いで、「道路等の整備」の0.49となり、「地域医療体制の確立」の0.41、「健康を保つ活動の充実」「優れた自然環境の保全」の0.40となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

4. 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の6項目に分類し、そのうち代表的な意見を記載しています。

＜自由意見の記載内容＞

分類
(1) 市民活動・情報発信に関わる意見
(2) 子育て・福祉・健康に関わる意見
(3) 産業・観光・雇用に関わる意見
(4) 文化・教育・スポーツに関わる意見
(5) 防災・生活に関わる意見
(6) 行政全般に関わる意見

(1) 市民活動・情報発信に関わる意見
湯沢市にとって人口減少が最大の課題である。
若者が定住できる環境づくり、若者の意見が通る環境づくり、若者が集まる場所をつくるなど、若者に魅力あるまちづくりが重要である。
PR不足。観光、産業、食材、製品、ふるさと納税などをもっとアピールするべきである。
広報紙のペーパーレス化や公共料金の電子マネー決済等、デジタル化を推進するべきである。
特に高齢者など、デジタル機器を持っていない、使えない人への配慮が必要である。
誰でも気軽に相談できる環境や、みんなが協力し合えて意見を言い合えることが大事だと思う。
町内会や地域社会のしぐらみがあり生活しにくい。

(2) 子育て・福祉・健康に関わる意見
子育て世帯に対する支援を充実させ、子育てしやすい環境づくりが重要である。
公園や施設など、子どもが遊べる場所を充実させてほしい。
小児医療が不十分で不安。救急や色々な症状に対応した小児科がなく、市外に通院する必要がある。
待ち時間や冬季の交通事情など、雄勝中央病院の状況を改善してほしい。
移動スーパーに来てほしい。市が主体となって運営してほしい。
子育て世帯や高齢者に対する支援ばかりで、若い世代や単身世帯への支援がないことが不公平である。
収入が低い人への支援がほしい。本当に困っている人、ギリギリで生活している人がたくさんいる。

(3) 産業・観光・雇用に関わる意見
サンロードのシャッター街を改善してほしい。学生が好きな場所や、起業や企業誘致の場所にするなど、シャッター街を再利用できないものか。
若い人が働ける場所がない。仕事に困っている若者は多いと思う。
働く場所をつくるため、工場やIT企業など、企業誘致を進めるべき。
若者が集まれる場所や娯楽施設が少ない。
コストコやショッピングモールなどの商業施設があるとよい。市外に買物に行かなくてもよい環境づくり。

(4) 文化・教育・スポーツに関わる意見
各学校の部活動やスポ少では、指導者が不足している状況である。部活動の地域移行や部活動への補助の充実を進めてほしい。
通学路の整備や除雪、スクールバスなど、子どもたちの通学の安全確保が必要。
子どもたちへの教育により人材を育成する。幼少期から高校までの教育で地域の魅力を伝える。
気軽にスポーツができる施設・環境の整備や、スポーツイベントを充実させてほしい。

(5) 防災・生活に関わる意見
道路除雪を改善してほしい（来る時間が早すぎてまた積もってしまう、朝方に積もると出勤しない、1日1回しか除雪が来ない、除排雪が年々悪くなっている等）。
雪を捨てる場所がないので流雪溝を新設してほしい。利用時間を拡大してほしい。
バスが来なくて困っている。循環バスの運行地域拡大したり、曜日で色々な地域に回していただきたい。
防災行政無線が聞こえにくいため、改善してほしい。
空き家が増えており、補助金の充実や所有者への指導など対策が必要。
廃校舎の利活用に取り組んでほしい。
山形新幹線が湯沢駅まで延伸されるとよい。

(6) 行政全般に関わる意見
このアンケートによって何がどう変わるのか、具体的に何に活用されるのか知らせてほしい。
市の動きや政策を十分に理解できていないことに気づいた。
本当に必要なものと不必要なものを見極め、必要なものに予算を多く振り分けてほしい。
少数派やマイノリティに対する配慮があると安心できる。差別や同調圧力が生まれないように政策を進めてほしい。
地域によって利便性に差を感じる。地域格差が少なくなるように早急な対策を講じてほしい。
市のやる気を感じられない。他の市町村はもっと自分たちのまちを良くしようと頑張っているように見える。
残すべきところは残し、変われるところは変えていく。新しいことにも取り組むことを望む。